

～支援室ゆいの巡回支援を効果的に活用するために～

巡回支援事業とは

- ・宮古島市障がい福祉課が実施している、発達障がいの「早期発見・早期支援」事業です。
- ・発達障がい児(者)支援室ゆいの巡回支援専門員が、保育園・幼稚園・その他親子が集まる場を訪問し、保育観察や対応に関しての助言提案を行います。

活用のポイント

《巡回前》

- ① 担任による実態把握→園全体で「困り感」を共有、巡回支援を希望する児をチェックする
- ② 対象児 1 人につき 1 枚「子どもの行動チェックリスト」記入
- ③ 園長や主任を通して巡回申込書、チェックリストは FAXにて送信。

原本は巡回確認時のフィードバックに使用しますので、園にて保管してください。

園全体で困り感を共有するポイント

- ・園での様子
- ・これまで取り組んできた支援/対応方法
- ・園(担任)の見立て
- ・保護者の受容度/養育環境など

☆この点を情報提供下されば、
当日見るべきポイントが定まります。
☆総合的な判断材料にすると、対応方法の見当がつきやすくなります。

《巡回時》

- ・「施設支援」として環境調整や園内でできる遊び・取組、関わり方等について提案します。
☆あくまでも提案・助言であり、指導ではありません。

△ご注意△

・巡回中、他に「気になる子」がいた場合、状況に応じては対応出来ない場合があります。改めて巡回確認の依頼をするかどうかは園全体でご検討をお願いします。

《巡回後》

- ・保護者のご希望ある場合は支援室ゆいの見立てを直接お伝えすることができます。その場合は保護者に障がい福祉課へご連絡いただき、予約をとっていただきます。

△ご注意△

・巡回支援は、**保護者に了承を得られている**ケースが対象となります。園から気になる点を伝えた上で、「この部分を支援室ゆいに見てもらいたい(相談したい)が、どうか。」と事前に了承を得ることで、園と家庭の情報共有がスムーズになり、より良い関係作りに繋がります。
・日常的に、園での様子(困った行動だけでなく成長や良い点も含めて)を、客観的事実と対応方法、その時の子どもの様子も含めて伝えておくと、受け止めがよりスムーズになるかもしれません。

就学に向けて(4～5 歳児について)

・「聞く」「見る」(指示理解の確認)、「話す(表出)」、「一定時間座る」、「集団遊び(活動)」
→就学時には必要な力で、遊びの中で取り組みます。ぜひ就学後の姿を思い浮かべながら、取り入れてみて下さい！

※遊びの中で上記の点に課題が見られ、園で工夫や支援を取り入れても改善が見られない場合には、就学後の支援の必要性について保護者と話し合いを持ちましょう。
その際、「こういう支援があれば取り組める」「こういう環境であれば頑張れる」など、必要な支援・環境について具体的に伝えられると、保護者も就学後の支援の必要性をイメージしやすいと考えます。

教育支援申請に関して

- ※① 5才児に関しては、小学校入学時に支援が必要かどうかの**教育支援申請**の時期が決まっています。教育支援に繋げる場合は、園長や主任を含めて本児の実態を情報共有しておいて下さい。
- ※② 申請時期に間に合うように、(ゆいの巡回、専門家の見立てを待たずに)各園の気づきを優先し、早めに保護者面談等を実施して、申請の検討を促すようにして下さい。
- ※③ 「まずは検査をとってから支援を受けるか検討したい」といった**実態把握のための発達検査や知能検査は、教育支援申請ではなく事前に保健センターか支援室ゆいが実施**します。教育支援申請に間に合わせるためには、是非お早めにご相談/ご連絡下さい。

◆重要◆

- ①日常生活スキル未確立(排泄の失敗がある、衣服の着脱や食事時等の場面で介助や促しが必要)
 - ②危険・安全の判断がつかない、
 - ③個別でも言語でやりとりできない(言語での指示理解・表出に課題がある)
- 上記のお子さんは、就学時に支援が必要となる可能性が高いです。できる限り5歳児前に保護者と共有出来るようにすると、5歳児に上がってからの繋がりがスムーズになります。

個人情報の取り扱い

※個人情報保護のため、施設から依頼を受けて巡回確認した児の情報を、支援室ゆいから転園先に直接引き継ぐことは**できません**。引き継ぐ際には、以下の流れでお願いします。

- ① 保護者経由で伝える。
- ② 前園から情報提供を行う。
- ③ 転園先の園から情報提供を求める。(子ども未来課経由)

◆重要◆

・お子さんの気になる点や支援などについては、重要なプライバシーを含む内容です。①、②、③とも、保護者の同意なしには情報共有はできません。

・在園児で気になる子に関しては、なるべく保護者とコミュニケーションを取り、気になる点の情報共有を日頃から行っておくと、支援の流れが途切れずにスムーズに行えます。

・保護者へ気になるポイントの伝え方に悩む場合は、ぜひご相談下さい！